

第6次東浦町総合計画（案）

1 趣旨

東浦町では、将来の東浦町をどんなまちにするのか、そのためにはどんなことをしていくのかといった、まちづくりの進め方を分野ごとに記載した「第6次東浦町総合計画（案）」を作成しました。

総合計画は、東浦町が持つ計画の中で最も上位の計画です。この総合計画をもとに、今後、東浦町はまちづくりを進めていきます。

この第6次東浦町総合計画を策定するにあたり、広く皆様から意見を募集します。

2 目的及び背景

東浦町では、1976年の第1次総合計画から5次にわたる総合計画を策定し、まちづくりを進めてきました。前回の第5次総合計画は、2020年度までの東浦町を見据えて作っています。しかし、2015年の国勢調査において初めて人口減少となり、人口が増える想定で作っていた計画内容を早急に見直す必要があり、人口減少への対応や社会の変化に対応するため第5次総合計画を前倒して2019年からの次期総合計画を策定することとしました。

今後、少子高齢化による日本社会全体の人口減少が進み、東浦町の人口も減少していくと予測されます。

現行計画の人口見通しは緩やかな増加傾向を前提に策定されていますが、「東浦町人口ビジョン」（平成28年2月）の人口推計では、人口減少とともに老年人口（65歳以上）割合の増加が予想されています。

平成27年度国勢調査の人口は49,230人で、人口減少が実態としても明らかになり、人口の増減の傾向にあわせ、施策の方向性も見直さなければなりません。

少子化による人口の減少や高齢者の増加は、日本社会全体での傾向としては明らかになっていますが、自治体により、その進み方は大きく異なります。全国一律の画一的な制度では対応できないため、それぞれの自治体の実情に合った対応が求められます。さらに、AIやIoTなどにより産業はもちろん社会も大きな転換期を迎えることから、長期的な視点でまちづくりを考えていくことが求められているため、第6次東浦町総合計画（案）を作成しました。

3 実施機関の考え方

「住む人が幸せを実感できるまち」とはどんなまちなのでしょう。そんなことを「住民の皆さん」「様々な活動をしているNPO・ボランティア団体の皆さん」「事業者の皆さん」「これからの社会を担う若い世代の皆さん」とともに話し合い、計画にまとめました。

総合計画は行政のためだけの計画ではありません。住民の皆さんや将来東浦町に住みたいと考える方、東浦町で活動される方にとって、これから東浦町がどのようなまちづくりを進めていくのか、また、住民、事業者・団体、行政の役割を示すことによって、誰とどのようにまちづくりを進めていくのかを、誰もがイメージできる記述に努めました。

4 概要

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つに分かれており、それぞれが持つ役割に沿って内容を記載しています。

(1) 基本構想 【計画期間】2019～2038年度

20年後の東浦町を見据え、「どんなまちを目指すのか」を定めます

基本構想には、少子高齢化や人口減少により大きく社会が変わる中で、東浦町をどんなまちにするのかといった、将来の東浦町の姿、それを実現するためのまちづくりの方向性を示しています。

(2) 基本計画 【計画期間】第1期 2019～2023年度 第2期 2024～2028年度
第3期 2029～2033年度 第4期 2034～2038年度

基本構想にもとづき、5年単位で「何をするのか」を整理します

基本計画には、基本構想に書かれた20年後の東浦町の姿を実現するため、東浦町で取り組むべき内容を、様々な分野での取組について示しています。5年間を区切りとして、進み具合や課題を確かめて、次の5年間の基本計画を策定します。

(3) 実施計画 【計画期間】第1次 2019～2021年度～第20次 2038～2038年度

基本計画の内容を、3年単位で「どのように行うのか」を組み立てます

実施計画には、基本計画に書かれた様々な分野での取組を進めるために必要な具体的な事業を示しています。3年間の事業費を含む事業計画を示し、必要に応じ修正を加えながら毎年度策定します。